

委員会（熊本県天草市）は4月5日、蘭姫通りで行う『第23回おんなの夜祭り』において、『結婚式行列』を実施した。

『出逢い・生み・育てる』をテーマに、地元の有志が通りの活性化を願って夜市としてスタート。その後、養蚕業が盛んで昭和初期まで蘭市場も位置していたこの通りに、養蚕の守護神を祭る祠（ほこら）を移したことから祭りに変わり、今年で23回目の開催となった。地元食材を使ったコロッケやカレー、から揚げなど約50店の屋台が並び、例年約1万人が訪れる春の恒例行事となっている。

祭りの呼び物である『結婚式行列』は、通りの先にある本渡

諏訪神社で式を挙げた新郎新婦が通りを進み、神様と神様を繋げる祭事として企画している。今年は市内在住の30代夫婦が、挙式を実施。その後人力車に乗り込み、蘭姫役の20歳の学生、巫女、稚児らと一緒に270mを練り歩いた。白無垢、紋付き袴姿の新郎新婦に対し、沿道から祝福の拍手が送られた。

「満開の桜の下、多くの観客に祝福されて通りを厳かに行進する花嫁行列は、古き良き日本の心呼び起こします。これまでに19組の夫婦を祝福しており、式を挙げないカップルも増えてきたからこそ、今後も大切に続けていきたいです。」（2代目実行委員長・石井美恵氏）

今年は『ローストポーク』をテーマ食材とし、これを活かしたガルニチュール（付け合わせ）やソース、調理法を考案。全国

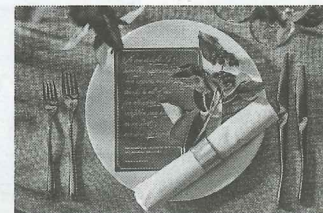
トや調理法、想定するターゲットといった、幅広い観点から質問する様子も見られた。『ローストポークのピカタ風



▲グランプリ小形氏による料理

テレビ向上新サービス

エスクリ（東京都中央区）は4月1日、結婚記念日や顔合わせ、誕生日などの記念日を直営会場で祝うプランを集約した『Anniversary Hunter』をリリースした。



▲ベビーシャワーなども案内

エスクリ

それぞれの記念日に合わせ、料理、装飾、撮影といったあらゆる要素を取り揃えたプランを展開する新サービス。同社直営のラヴィマーナ神戸をはじめL2126、ラグナヴェールTOKYOなど、全国の直営会場で対応する。

サービスは①ベビーシャワーや卒業パーティーなどに向けた『Private Event』、②顔合わせ、還暦祝いなど伝統行

事を祝う『Traditional Event』、③創立記念や就任式といった『Business Event』、④結婚記念日などに改めて想いを伝える『Re:Propose』の4カテゴリーで構成している。

同社はこれまでも、フォトスタジオを展開するデコレテ（神戸市中央区）と業務提携を結ぶなど、LTV向上に向けた取り組みを強化してきた。『Anniversary Hunter』もその役割を担うサービスとして、案内を進めていく。

自社運営施設では成約率60%

中小会場の成約率UP

連載19

KAKEHASHI 代表取締役 寺田 英史氏



中小会場には、アクセスに難のある所も存在します。当社の運営するサンタアムールもその一つ。静岡駅から車、タクシーで20～25分、マイクロバスなら30分かかります。さらに山の上にあります。道も細く、人通りも少ない場所にあります。それこそ夜にはタヌキが出るような場所です（笑）。

一方、競合会場については静岡駅から徒歩圏内や、幹線道路沿いに立地し、アクセスの良さを武器にしています。この不利な条件を正面から受け止め、戦略を立てています。

サンタアムールは、開業当初から「森のリゾート」というコンセプトを明確

に掲げています。郊外にあることを逆手に取り、森の魅力に興味を抱かせるマーケティング設計を進めました。ゼクシィでは「森の中の小さなウェディング」というサブタイトルを添え、ビジュアル面でも森の写真を多用。Web広告やSNSでも同様の世界観を展開し、広告からホームページへの流入を図っています。ホームページ上では、リアルなパーティーレポートを掲載。来館前から自社の魅力を体感してもらう導線を重視しています。

実際に新郎新婦が来館すると、まずアクセスに対してネガティブな印象を持ちます。ナビ頼りでたどり着き、道

アクセスの悪い会場で価値を作っていく

中に不安を覚えるケースも多いです。とは言え、式場に到着した瞬間、非日常の世界が広がり、テンションは一気に上がるのも事実。

そこで新規接客においては、まずアクセスの悪さを正直に言葉に出し、その上で「ゲストに非日常空間を提供できる」という価値を伝えます。アクセスを取るか、ゲスト満足度を取るか、どちらが素敵な結婚式に直結するかを考えてもらう流れです。

ネガティブ要因をベネフィットに変えていく商品設計も重要。サンタアムールでは一日一組限定の貸切制を採用し、到着直後からガーデンでウェルカムパーティーを開催。通常の受付待ち、個室での待機、挙式という流れとは差別化を図っています。また、山中にある利点を生かし、大音量演奏や花火など、通常の式場では難しい演出も可能

です。近隣に住宅のない環境が、さらなる魅力となっています。

挙式から披露宴までの間も、ガーデンで乾杯やフリータイムを設け、自由度の高い一日を提供。披露宴の標準時間は3時間で、他会場よりも長めに設定しています。さらに、新郎新婦は結婚式当日に森の中でのフォト撮影もでき、朝9時から夜8時まで一日中楽しむことも可能です。結婚式そのものがリゾート体験となり、新郎新婦にとっても、ゲストにとっても忘れられない一日を演出しています。

アクセスの悪さは変えることはできません。だからこそ、それを補って余りある魅力をどう作り出すかが重要です。選ばれない理由を「立地のせい」にするのではなく、伝え切れていない価値を棚卸しながら、訴求力を磨いていくことは大切です。